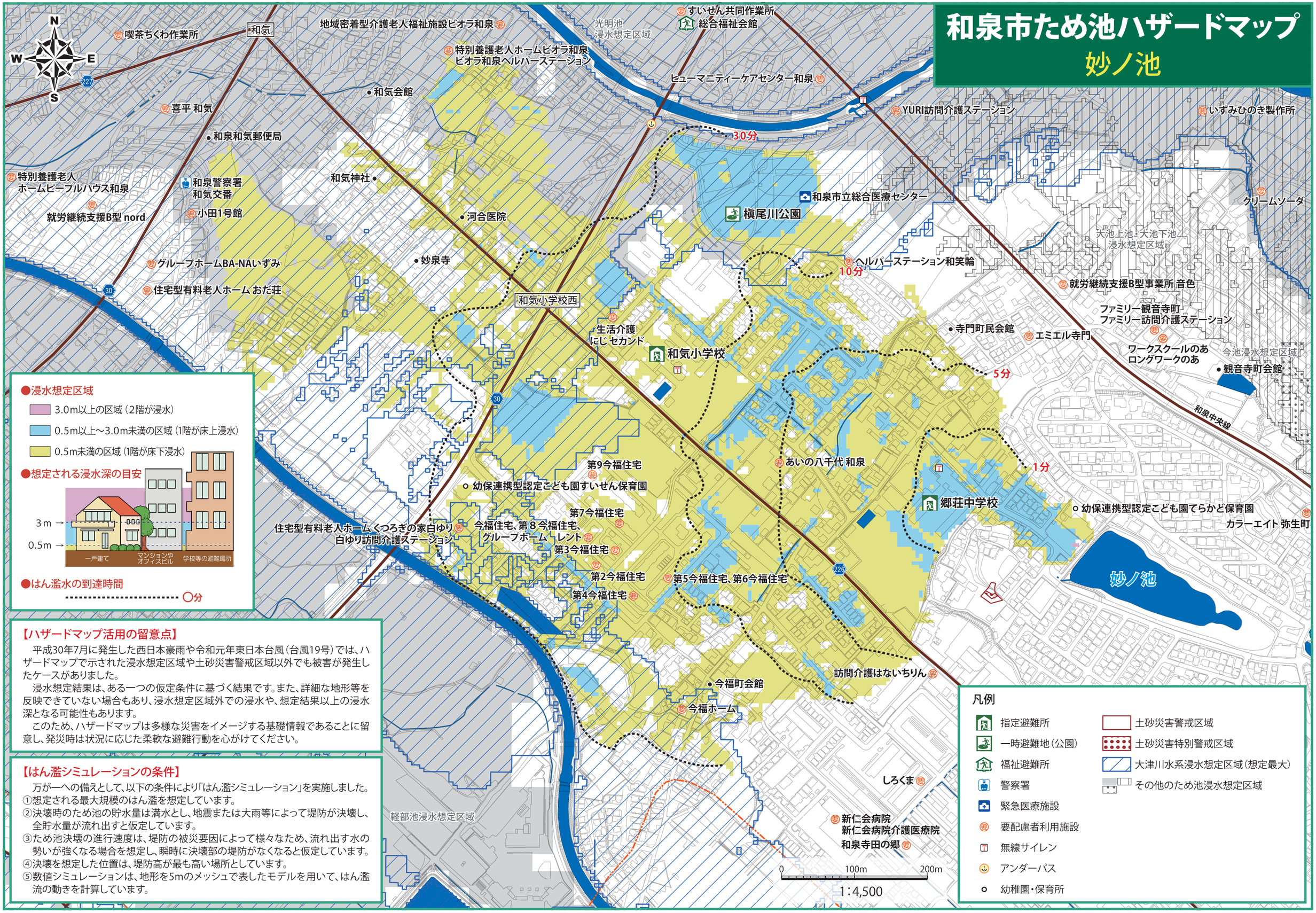
和泉市ため池ハザードマップ
妙ノ池



【ハザードマップ活用の留意点】

平成30年7月に発生した西日本豪雨や令和元年東日本台風（台風19号）では、ハザードマップで示された浸水想定区域や土砂災害警戒区域以外でも被害が発生したケースがありました。

浸水想定結果は、ある一つの仮定条件に基づく結果です。また、詳細な地形等を反映できていない場合もあり、浸水想定区域外での浸水や、想定結果以上の浸水深となる可能性もあります。

このため、ハザードマップは多様な災害をイメージする基礎情報であることに留意し、発災時は状況に応じた柔軟な避難行動を心がけてください。

【はん濫シミュレーションの条件】

万が一への備えとして、以下の条件により「はん濫シミュレーション」を実施しました。

①想定される最大規模のはん濫を想定しています。
②決壊時のため池の貯水量は満水とし、地震または大雨等によって堤防が決壊し、全貯水量が流れ出すと仮定しています。
③ため池決壊の進行速度は、堤防の被災要因によって様々なため、流れ出す水の勢いが強くなる場合を想定し、瞬時に決壊部の堤防がなくなると仮定しています。
④決壊を想定した位置は、堤防高が最も高い場所としています。
⑤数値シミュレーションは、地形を5mのメッシュで表したモデルを用いて、はん濫流の動きを計算しています。